

山行報告書

(2014.03.26改訂)

日時	2015年月 10月30日(金)～11月1日(日)		天気	31日(晴)・1日(曇)
山名	石鎚山1,982M、子持権現山1,677M (愛媛県・高知県)			
CL	高田	参加者	高藤(SL)・吉永(SA)	
(コース)	<p>10/30(金)筑紫野PA21:00＝別府IC＝別府港22:30＝宇和島運輸フェリー＝ 八幡浜港2:35＝面河溪P5:30 10/31(土)土小屋登山口8:00・・・東稜基部9:10・・・東稜ルート・・・弥山11:00・・・ 二ノ鎖小屋(昼食)11:45・・・夜明峠・・・天柱石12:45・・・十字分岐・・・ツナノ平分岐・・・ 土小屋15:00＝面河第一野営場(泊) 11/1(日)7:50土小屋・・・伊吹山9:30・・・子持権現山11:45・・・林道経由・・・土小屋14:00＝ 三崎港17:00＝三崎フェリー＝佐賀関港18:40＝大分道＝筑紫野PA20:45</p>			
(コメント)	<p>30日、予定通り福岡出発、大分道を快走する途中 今回はラッキーな山行になる予感がしました。 今回は当初面河登山口から土小屋を往復する計画でしたが、1日が天気が崩れるとの予報であつたためルート変更をしました。31日は土小屋から東稜ルートに、東稜基部まではガスに覆われてましたが基部につくころには青空が見え出しました。東稜ルートはやぶ漕ぎ、笹原の直登、岩稜帯のトラバース最後に5M程のクライミングをして南尖峰に上がり込みます。紅葉は終わっており残念でしたが、青空が晴れ渡り、穏やかな一日で 終始四国の山々が望めて最高の登山日和でした。 天狗岳、弥山頂上も予定通りのスケジュールで到着、大勢の登山者で賑わってました。 帰路は天柱石をぜひ見たいということになり、足を延ばしてみました。 ルートは土小屋に着く直前国民宿舎の駐車場に出たのですが、そこで8人用テントを見つけました。 当初の計画では見つけられなかったことでしょう。またその日は面河溪野営場にテン泊することに決めたのですが、そこで偶然あだると山の会の方々に出会い、話が盛り上がるというハプニングもありました。 1日は吉永会長のお薦めで、子持権現山を目指しました。天気予報通り石鎚はずっと雲の中で、スケジュールを変更して本当に良かったと思いました。子持権現山は約80Mの鎖の登り下りが醍醐味でした。鎖から手を離したら一巻の終わりです。子持権現山を下りてから山にガスがかかりこれまたとてついてもつきました。鎖が濡れていたら多分頂上には立てなかったと思います。 今回の山行は(変更後の)スケジュール通りに行動が出来、様々なハプニングにも出会い、何より最高の天気の中、山行を終えたことが本当にラッキーでした。</p>			
				
費用概算				
交通費 食費 宿泊費	16,000円/人			